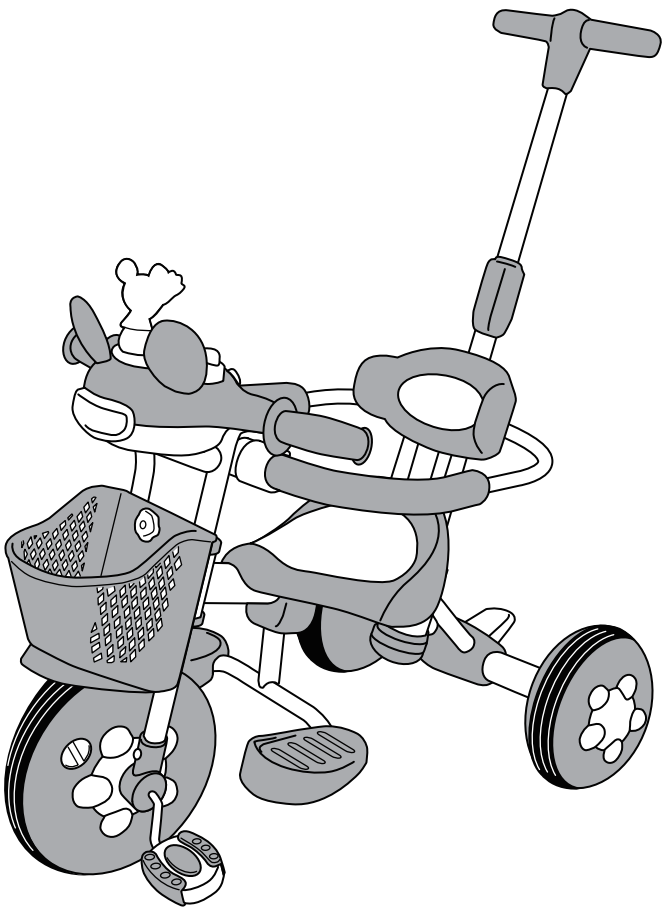
大切なお子様のために正しくお使いください。

ミッキーマウス おしゃべりカジー

取扱説明書



目次

①定義とシンボルマークについて ・・・・・・・・・・・・・・・P1
②安全上の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・P1
③梱包内容 ・・・・・・・・・・・・・・・P1
④各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・P2
⑤組み立て方法
●後輪の取り付け・・・・・・・・・P2
●ハンドルの取り付け・・・・・・・P2
●背もたれの取り付け・・・・・・・P3
●ステップとサドルの取り付け・・P3
●安心ガードの取り付け・・・・・・P3
●バスケットの取り付け・・・・・・P4
●ブザーの取り付け・・・・・・・・P4
●コントロールバーの取り付け・・P4
⑥コントロールバーの操作 ・・・・・・・・・・・・・・・P4
⑦コントロールバーの取り外し方法 ・・・・・・・・・・・・・・・P5
⑧ステップの取り外し方法 ・・・・・・・・・・・・・・・P5
⑨安心ガードの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・P5
⑩ロック&フリーの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・P6
⑪ブレーキの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・P6
⑫ブザーの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・P6
品質保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・P7

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

ides

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

⚠警告 身体に関する危険
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注 意 財物や商品本体に関する危険
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

●SGマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する保証制度です。
●この商品はSG基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗り下さい。
●対象年齢：1.5歳～3歳　適正身長：80cm～100cm

⚠警告

おとなといっしょ

みずにぬらさない

ひにちかづけない

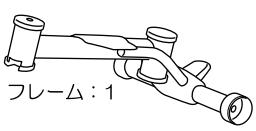
●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者の下で遊ばせてください。
●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
●坂道での使用は、避けてください。
●交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
●2人乗りなどの危ない乗り方は絶対しないでください。
●車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
●幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれない様に注意してください。
●コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し、ロック＆フリーホイールをフリーの状態にしてください。
●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
●業務用・団体用で使用しないでください。
●三輪車以外の目的では使用しないでください。
●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。

注 意

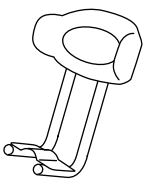
●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
●屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
●火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。

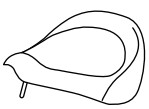
※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」「注意」が表記してありますので、そちらもお読み下さい。

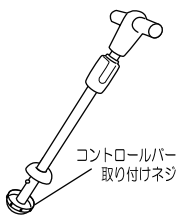
③ 梱包内容


フレーム：1

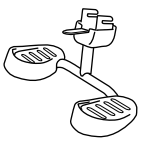
前輪付き
ハンドル：1


背もたれ：1

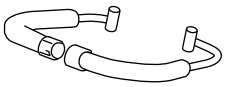

サドル：1

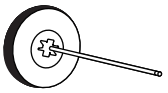


コントロールバー：1


ステップ：1

バスケット：1


安心ガード右/左：各1

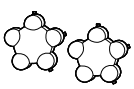

シャフト付き後輪：1

後輪：1

ブザー：1

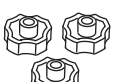
取扱説明書：1

袋入り・・・袋入り部品は2袋に分かれて後輪およびシャフト付き後輪といっしょに梱包されています。


ホイールキャップ：2

ヘッドピン：1

角根ネジ：1


ノブナット大：3

ノブナット小(赤)：1

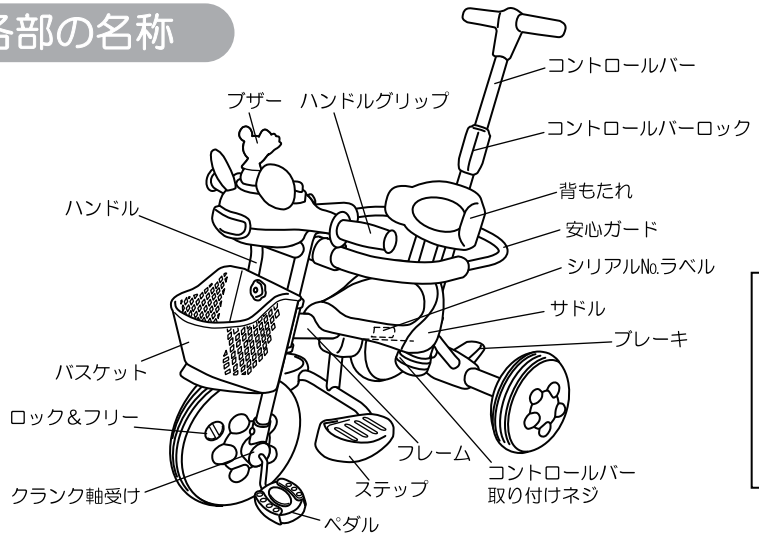
ノブネジ：1

ロック金具：1

ストッパー：1

取り付け工具：1

④ 各部の名称

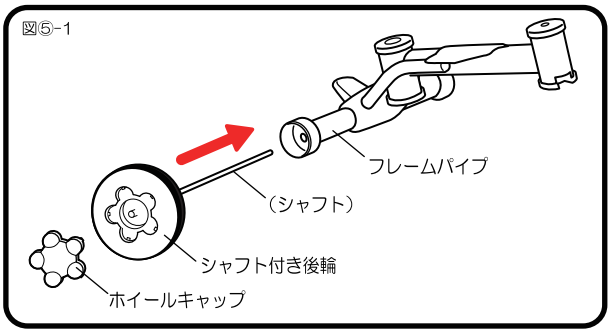


【材質】

フレーム	：スチール
ハンドル	：スチール
コントロールバー	：スチール
バスケット	：ポリプロピレン（PP）
前輪・後輪	：ポリプロピレン（PP）
サドル	：ポリプロピレン（PP）
サドルシート	：塩化ビニール（PVC）

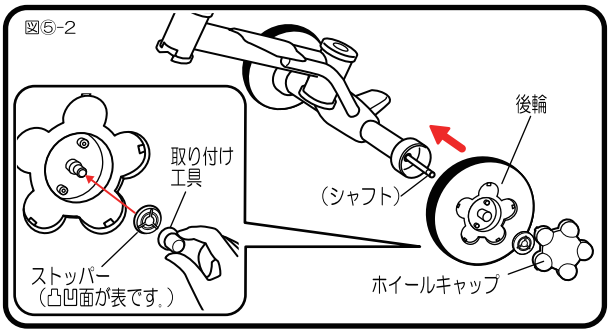
⑤ 組み立て方法

●シャフト付き後輪の取り付け



・シャフトをフレームパイプに通します。
・シャフト付き後輪にホイールキャップをはめ込みます。

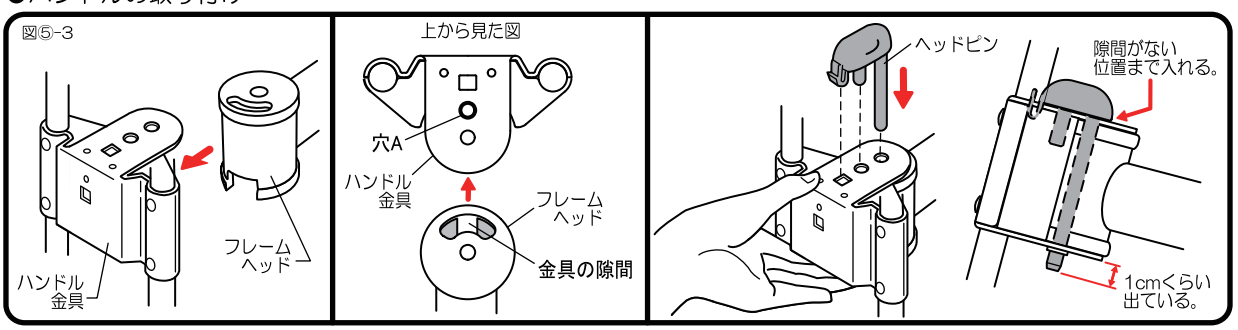
●後輪の取り付け



・シャフトに後輪を通します。
・取り付け工具を使用してストッパーで固定します。
・後輪取り付け確認後、ホイールキャップをはめ込みます。（取り付け工具はストッパーを固定したら不要となりますので、ホイールキャップの中に入れないでください。）

注 意
●ストッパー取り付け後、後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
●ストッパーは、一度取り付けると外すことができませんのでご注意ください。

●ハンドルの取り付け



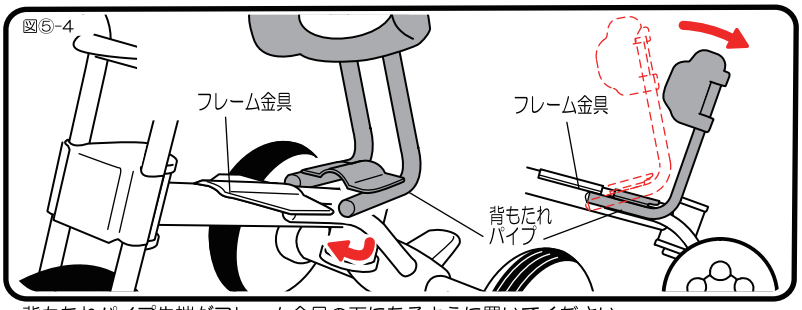
・ハンドル金具とフレームヘッドを合わせてください。

・フレームヘッドの長い穴から見える**金具の隙間**とハンドル金具の**穴A**が合うようにしてください。金具の隙間と穴Aがズレているとヘッドピンが根元まで入りません。

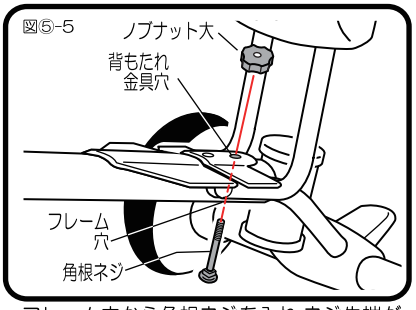
・ハンドル金具の穴にヘッドピンを入れてください。
・ヘッドピンを入れる際は、ハンドル金具の下部分を支えながら差し込むようにしてください。下部分を支えないで組み立てようとすると、ハンドル金具が曲がる恐れがあります。
・ハンドル金具の上面とヘッドピンに隙間がない位置までヘッドピンを入れてください。
・ハンドル金具下からヘッドピン先端が1cmくらい出ていることを確認してください。

注 意
●ハンドル金具の下からヘッドピンの先端が1cmくらい出ていない場合は正常な組み立てではありませんのでご注意ください。
●ヘッドピンを差し込まない状態で無理な力を加えないでください。ハンドル金具が変形して、ヘッドピンが固定できなくなります。

●背もたれの取り付け

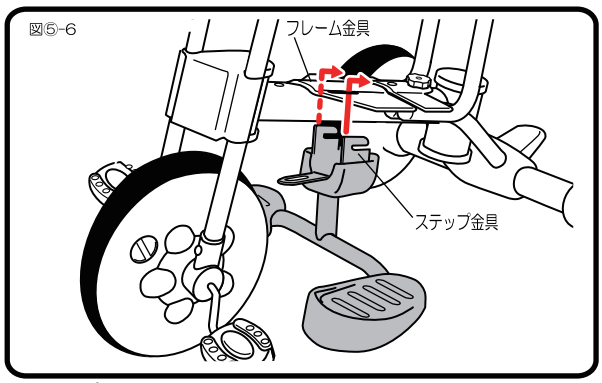


・背もたれパイプ先端がフレーム金具の下になるように置いてください。

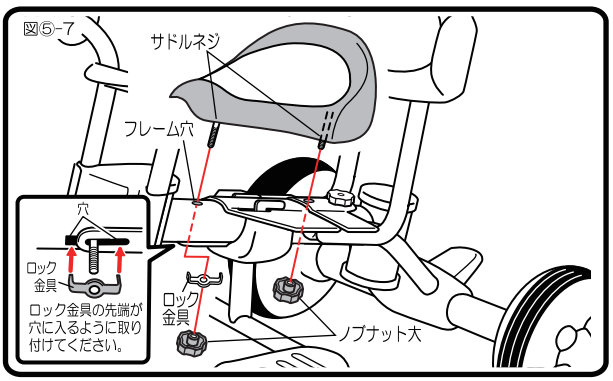


・フレーム穴から角根ネジを入れ、ネジ先端が背もたれ金具穴から出たらノブナット大で強く締めつけてください。

●ステップとサドルの取り付け



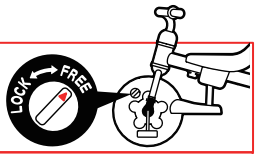
・ステップ金具の先端をフレーム金具の穴に入れ、後ろへずらして引っかけてください。



・サドルの裏にあるサドルネジをフレーム穴に合わせて差し込んでください。
・フレーム下からネジ先端が出たらロック金具を取り付け、ノブナット大で固定してください。(ロック金具は前方ネジだけに取り付けるものです。)

必ず確認してください。

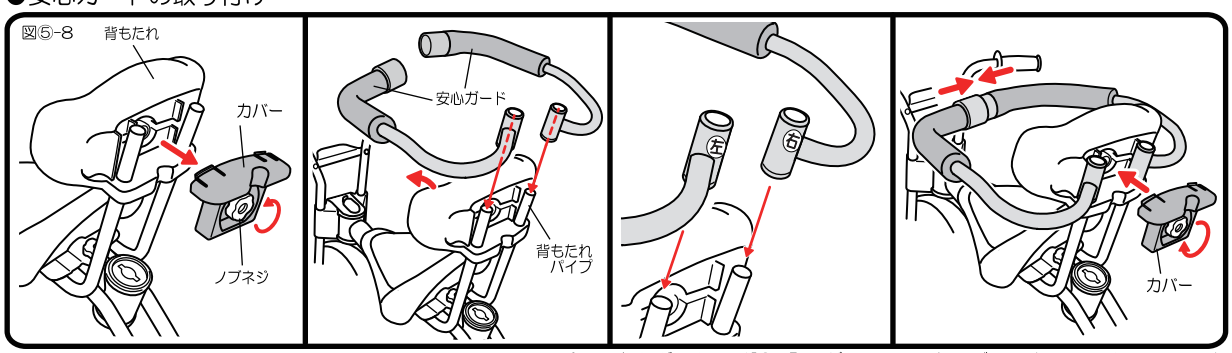
ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック&フリー機能をフリーにしてください。
ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。



注 意

●ステップは自走できない幼児の為の補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
●ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

●安心ガードの取り付け



・背もたれ裏のノブネジを回し、カバーを取り外してください。

・安心ガードを背もたれパイプに差し込んでください。(背もたれを少し前に倒すと差し込み易くなります。)

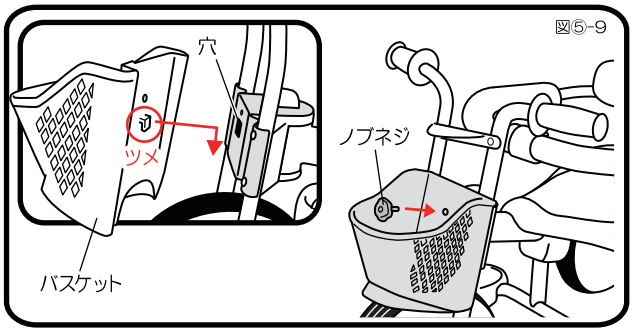
・安心ガードには「㊧」「㊨」が記してあります。三輪車の後ろから見て左のパイプには㊧を、右のパイプには㊨を差し込んでください。パイプは**下につくまで**差し込んでください。(下まで差し込まないとカバーが取り付きません。)

・安心ガードを閉じてからカバーを取り付け、ノブネジで固定してください。カバーを取り付ける時は**強く**押しながらノブネジをしめてください。(安心ガードの閉じ方の詳細は5ページの図⑨-1を参照)

注 意

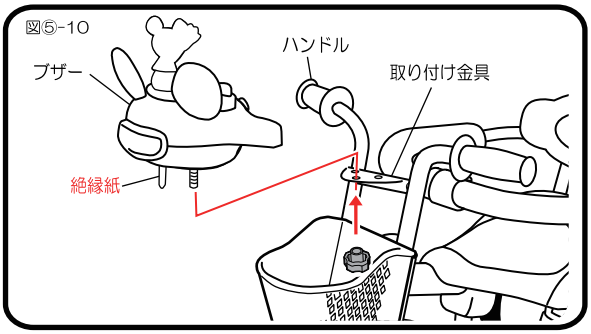
●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードを使用する際は手を挟まない様に注意してください。

●バスケットの取り付け



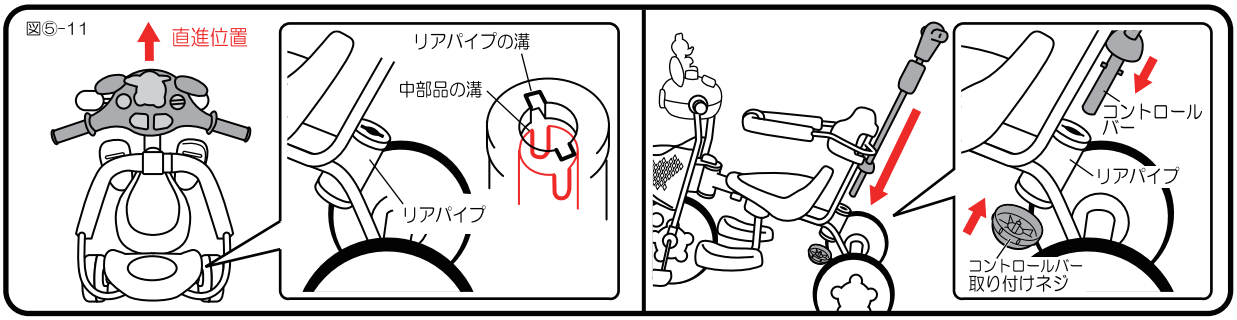
・バスケット裏のツメを本体の穴に入れ、引っ掛けます。
・ノブネジでバスケットを固定してください。

●ブザーの取り付け



・ブザー底面のネジを取り付け金具の穴に差し込みノブナット小(赤)で固定して下さい。(ご使用前に、絶縁紙を引き抜いて下さい。)

●コントロールバーの取り付け

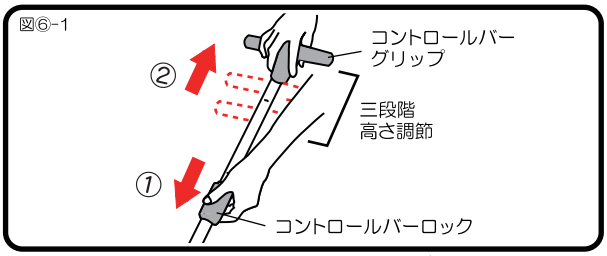


・ハンドルを直進位置(左右に曲げない)にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズレているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください。(ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズレている時はハンドルを動かしてください。)

・コントロールバーをリアパイプに差し込み、コントロールバー取り付けネジで締め付け固定してください。(ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません。)

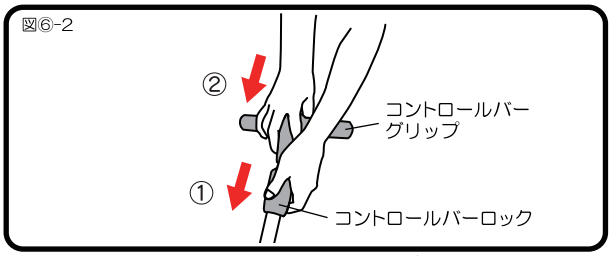
⑥ コントロールバーの操作

●コントロールバーの上げ方



・コントロールバーロックを矢印の方向①へ下げ、コントロールバーグリップを矢印の方向②へ引き上げてください。高さは3段階に調節できます。使い易い高さに調節してください。

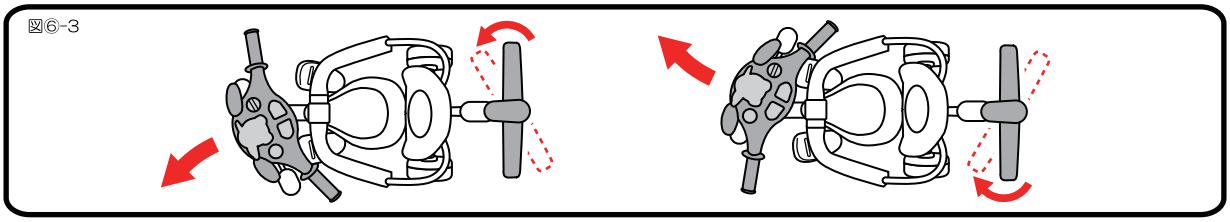
● コントロールバーの下げ方



・コントロールバーロックを矢印の方向①へ下げ、コントロールバーグリップを矢印の方向②へ下げてください。

注 意 ●コントロールバーを上下させる際は、滑り落ちないようにグリップをしっかり持ち、ロックを解除してください。

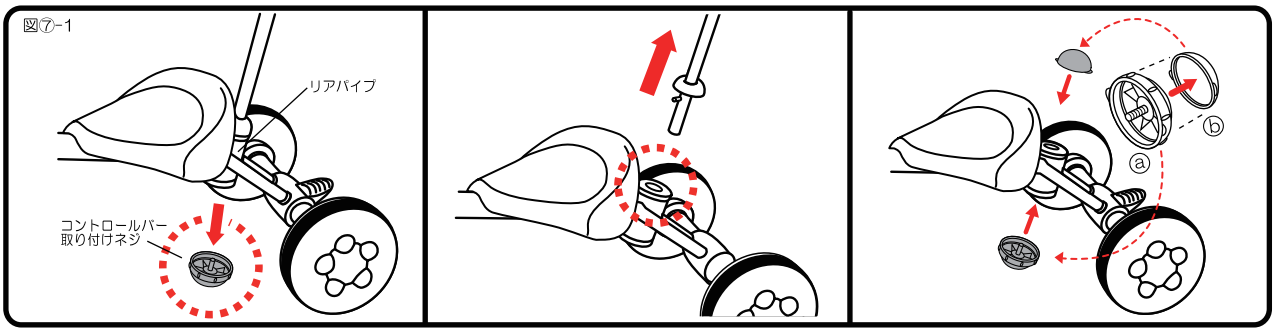
●コントロールバーで曲がるときの方法



・左に曲がる場合はコントロールバーを左に切ります。右に曲がる場合はコントロールバーを右に切ります。

注 意
●コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態(6ページ図⑩-2 ロック&フリー参照)にしてください。
●コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、下げたりしないでください。
●段差のある場所でのご使用は避けてください。又、壁などにぶつけないでください。

⑦ コントロールバーの取り外し方法



・コントロールバー取り付けネジをリアパイプから外して下さい。

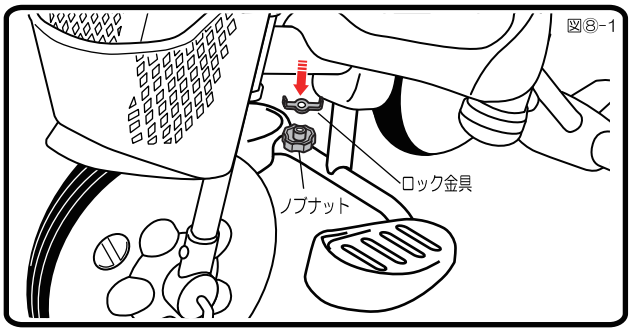
・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、コントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。

・コントロールバー取り付けネジをⓐとⓑに分離し、ⓐはリアパイプの下に取り付けⓑはリアパイプの上に取り付けてください。

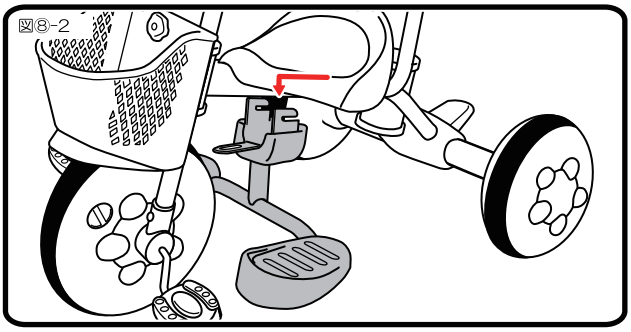
⚠警告
●コントロールバーを外した後は必ずⓐⓑ部品を取り付けてからご使用ください。ⓐⓑ 部品を取り付けずに使用するとケガをする恐れがあります。

注 意
●ⓐⓑ部品の取り付け、取り外しは保護者の方が行ってください。

⑧ ステップの取り外し方法



・図の位置のノブナットとロック金具を外してください。

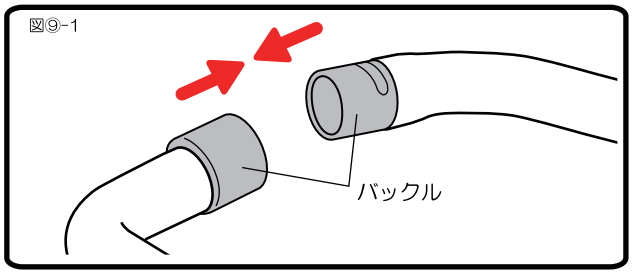


・ステップを前方へずらし、下へさげると取り外せます。ステップを外したらロック金具を付け、ノブナットで固定してください。（ロック金具の取り付けの詳細は3ページ図⑤-7を参照）

注 意
●ノブナットはしっかりと締め付けてください。

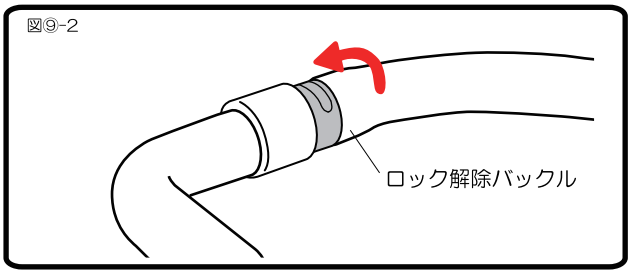
⑨ 安心ガードの取り扱い

●安心ガードを閉める



・安心ガードの左右のバックルが三輪車の中心で重なるように合わせてください。バックルが重なると同時にロックがかかります。

●安心ガードを開ける



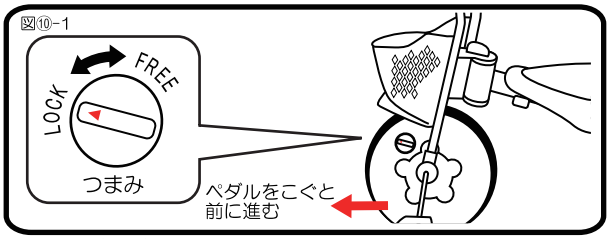
・ロック解除バックルを前方へひねるとロックが解除され、安心ガードを開くことができます。

注 意
●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉は保護者が行ってください。
●安心ガードを使用する際はバックルで手を挟まない様に注意してください。

⑩ ロック&フリーの取り扱い

●ロック状態

図⑩-1

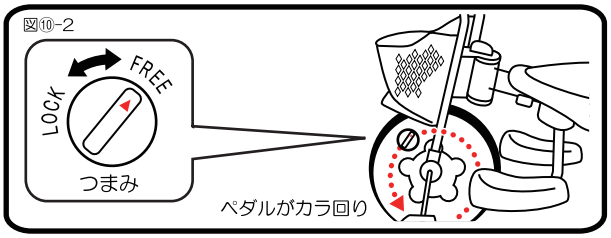


・お子様がペダルをこいで、使用する場合は、『つまみ』の▲印をLOCK(ロック)に合わせてください。

〔つまみをロックすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。〕

●フリー状態

図⑩-2



・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE(フリー)に合わせてください。

〔つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者の方がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。〕

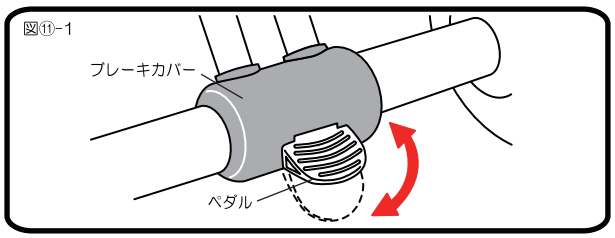
必ず確認してください。 ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック&フリー機能をフリーにしてください。ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

⚠警告
- ●ロックの状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
- ●お子様が三輪車に乗った状態でのロック&フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
- ●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。。

注 意
- ●『ロック&フリー』の切り替えは、保護者が行ってください。
- ●ご使用になる前は、必ずロック、フリーの確認を行ってください。
- ●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。

⑪ ブレーキの取り扱い

図⑪-1



●ブレーキをかけたい時はペダルを下げてください。
●ブレーキを解除したいときはペダルを上げてください。

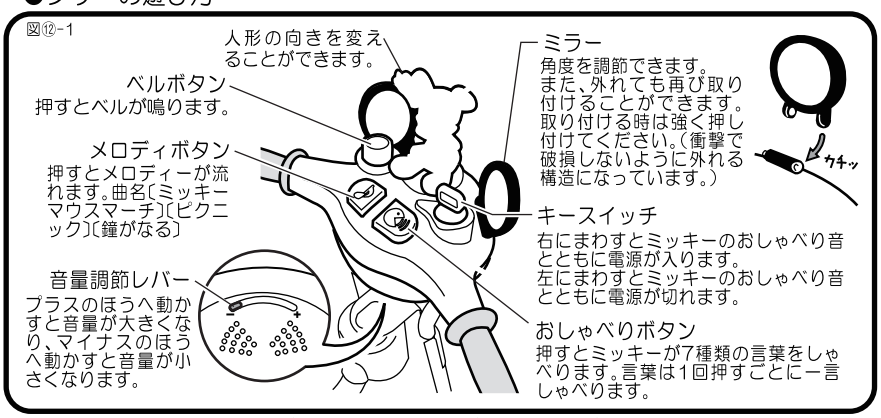
⚠警告
- ●三輪車の走行中にブレーキをかけないで下さい。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行って下さい。
- ●お子様を三輪車に乗せた時はブレーキを過信しないで下さい。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。

注 意
- ●ブレーキの上げ下げは保護者が行って下さい。
- ●三輪車を動かす前に必ず、ブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

⑫ ブザーの取り扱い

●ブザーの遊び方

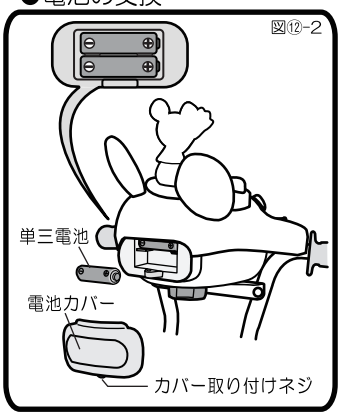
図⑫-1



・キースイッチ・おしゃべりボタン・メロディーボタン・ベルボタンで遊べます。
ブザー底面には音量調節レバーが付いています。
(電源を入れてから5分間何も操作をしないと、一時的に電源が切れます。どれかボタンを押すと再度電源が入ります。しばらく使用しない場合はキースイッチを左へ回して電源を切ってください。)

●電池の交換

図⑫-2



・カバー取り付けネジをドライバーでゆるめます。(カバー取り付けネジは、電池カバーから外れません。)
・単三電池２本を交換してください。

注 意
- ●電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなったり、途中で途切れることがあります。早めに電池を交換してください。
- ●寿命の尽きた電池をブザーに入れたまま放置しないでください。液もれ等により故障の原因となります。
- ●ブザー本体が確実に固定されていることを確かめてください。
- ●ブザー本体及びスイッチ・ボタン類は水に濡らさないでください。故障の原因になります。